



啓発

相対的貧困・氷河期世代

啓発グループ

角田郁夫 植野良一 北原君子
木村美奈子 根岸信行 三ツ石岩男



ここら辺には
貧困の人がいなくて
いいよね

それ、
本当？

貧困には

「食べ物がない」「住む場所がない」等すぐさま生命にかかわる…

絶対的貧困

地域において、通常当たり前とされる生活さえも出来ていない…

相対的貧困

今、日本で問題になっているのは…

相対的貧困

なぜ問題か？ …「絶対的貧困」への予備軍だから。

身近な例をさぐってみると…

- ・ 症状が悪くなっているのに通院を止めている。
- ・ お子さんお孫さんを進学させたいと思っても諦めている。
- ・ 子どもを旅行に連れて行ったり、習い事をさせるのを諦めている。
- ・ 結婚したい、子どもを産みたいという気持ちを捨てている。
- ・ 熱中症が騒がれている中エアコンをいれられない。
- ・ 自分のプライドや自己肯定感を捨てざるを得ないことが「相対的貧困」の本質（雨宮 処凜さんの本より）
- ・ 廃棄されたコンビニ弁当を食べるときには、人間としてのプライドを捨てなければならなかった。（ホームレスの人の話）

「相対的貧困」の敵は

“無関心”

“孤立”

- ・ 見えにくいのが、すぐ隣に潜む、誰でもなり得る問題
- ・ 住んでいる家や服装、持ち物では判断しにくい。
- ・ 家族の孤立



● 「相対的貧困」の拡大要因

- ・労働分野における非正規雇用者の増加。
- ・正規雇用に比べて低賃金、失業のリスクが高い。
- ・社会保険に未加入の割合が高い(会社が未加入の場合もある)
- ・本人の病気、怪我、家族の介護等で働けなくなり再び働こうとしても再雇用は困難。



● 「相対的貧困」の連鎖

貧困問題の深刻さ ……世代を越えて連鎖する傾向があること。

日本は、依然として高学歴重視社会といえる。

- ・親の経済的困窮が、教育環境や進学状況に大きな影響を及ぼす。
- ・借金を抱えるような奨学金制度では抜本的な改革にはならない。
- ・奨学金で進学しても、バイト潰が必要で退学に追い込まれることも。

連鎖を断ち切るためには、関心を持ち、助け合うことが必要

●2025問題

団塊世代が75才以上の後期高齢者になり少子高齢化が悪化

国民の5人に1人が75才以上、3人に1人が65才以上などと言われている。

医療を受けられる人、受けられない人の差が出てくるとも言われている。

又、少子化が進めば、日本の経済力が弱まるおそれがある。

現体制のままでは、格差が広がるのではないか。

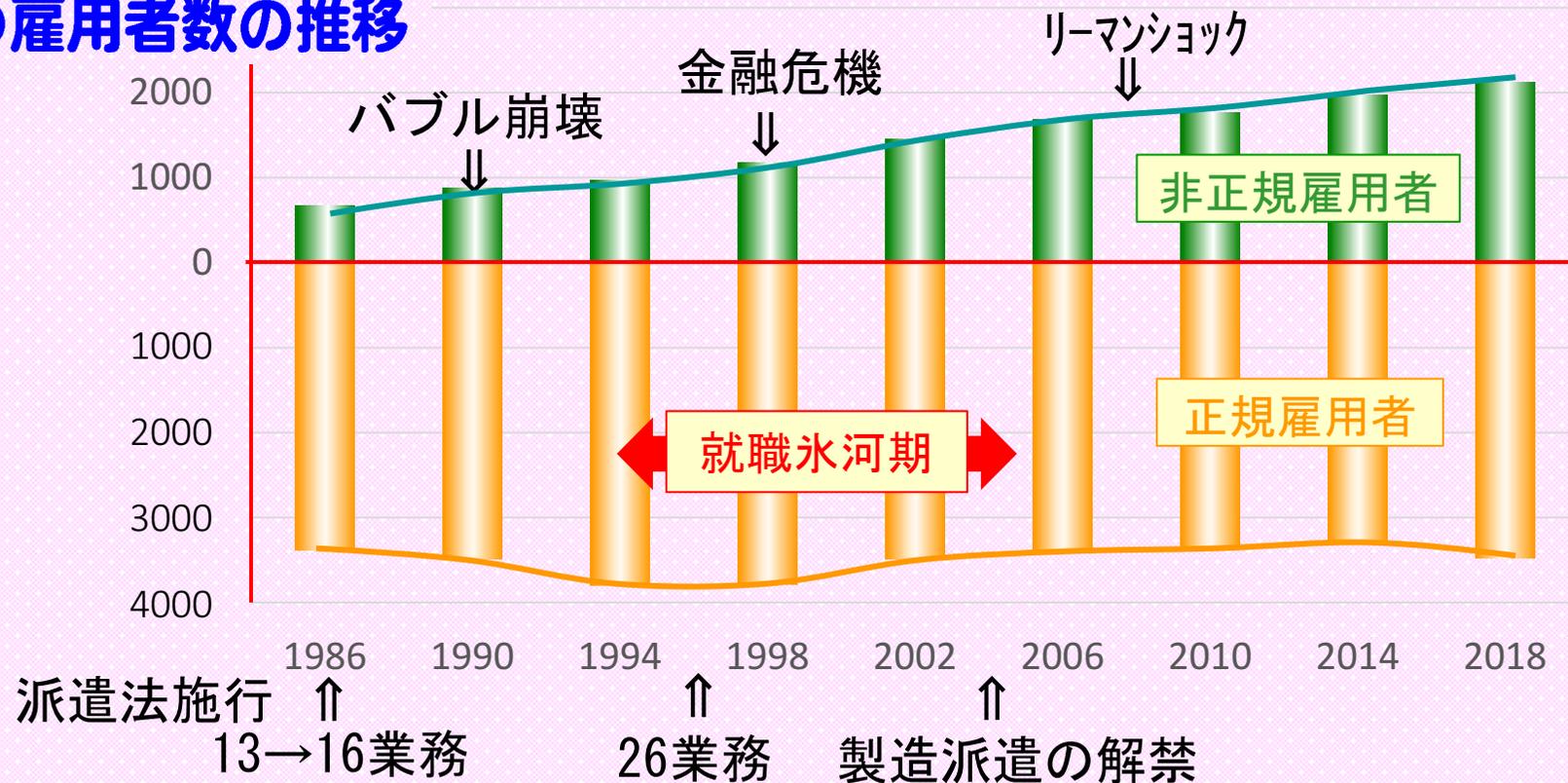
「相対的貧困」が社会問題であると

認識することが大切！



★就職氷河期世代

●雇用者数の推移



不安定雇用に
追いやられ、
自己責任とはいえない

非正規雇用者の問題点

- ◇ 低賃金
- ◇ 不安定雇用

- ・ 生活設計が立てられない
⇒ 未婚の増加や出生率の低下
- ・ 厚生年金がない、国民年金が払えない
⇒ 老後は生活保護を受給か？
- ・ 不本意な雇用形態
⇒ やりがいなど意欲の低下

企業側にとっての問題点

- ◇ 企業文化の継承性に支障
労働意欲の低下
⇒ 生産性の悪化

社会の問題点

- ◇ 少子化の一層の深刻化
- ◇ 年金の財政的基盤の脆弱化
- ◇ 日本経済の長期低迷

●非正規雇用

非正規の雇用形態 (2018年)

	2018年 労働力調査 (万人)	比率%
雇用者数 (役員を除く)	5,596	
非正規雇用	2,120	37.9
パート	1,035	18.5
アルバイト	455	8.1
派遣社員	136	2.4
契約社員	294	5.3
嘱託	120	2.1
その他	80	1.4

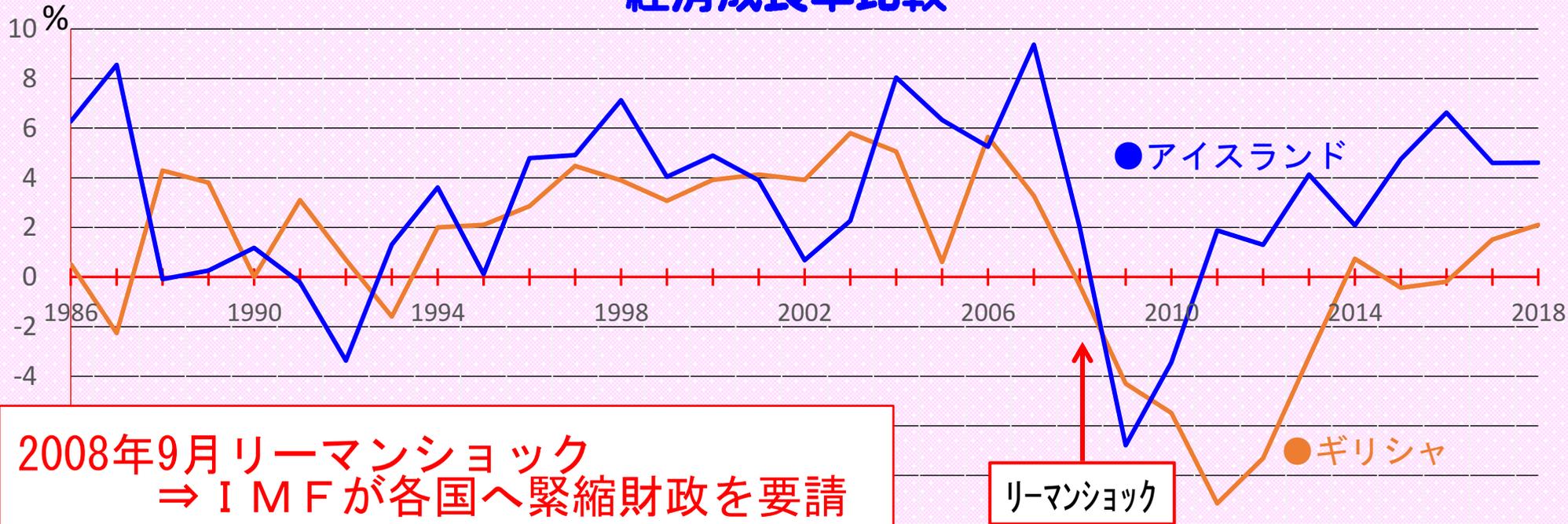
非正規の職についての主な理由 (2018年)

	(万人)
自分の都合のよい時間に働きたいから	597
家計の補助・学費等を得たいから	394
家事・育児・介護等と両立しやすいから	254
通勤時間が短いから	90
専門的な技能等をいかせるから	146
正規の職員・従業員の仕事がないから	255
その他	264

非正規の12.8%



経済成長率比較



IMFの要求に対してセーフティネットを強めた国。
アイスランド、ノルウェー、カナダなど

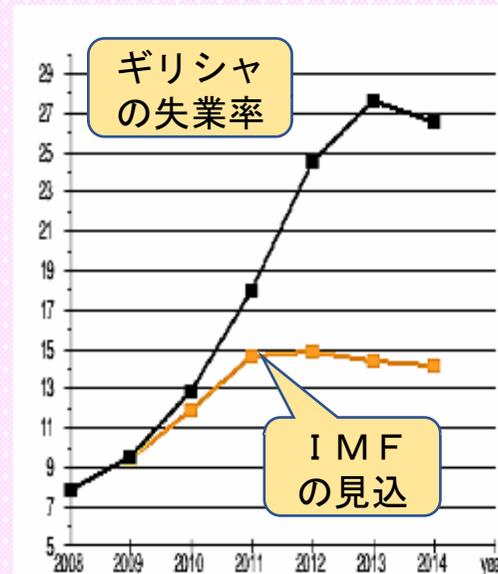
アイスランドに対しての緊縮財政要求の一つ
保健医療関連予算は30%削減

政府の緊縮政策に対して、**国民が拒否。**

セーフティネットの強化：
「福祉の監視」組織を立ち上げ

失業率 約3.2% (2000年代) ⇒ 4.7% (2010年代)

IMFの要求に応じた国。
ギリシャ、イタリア、スペインなど



アイスランド「福祉の監視」で議長へのインタビューで
(ラウラービェストウフティル氏)

「危機後のカオス状態の中で、私たちは
子どもや社会的弱者を守りたかった。
彼らがきちんと生活できないと、未来はない
から」



★数値資料で確認してみると

●相対的貧困率

全体… 15.6% (2015年)

16.1% (2012年)

* 先進国35か国中7番目に高い



●日本の貧困ライン

可処分所得で 1人世帯 122万円以下

4人世帯 250万円以下(2012年)

(参考) 非正規男性…平均年収172万円

非正規女性…平均年収148万円 (2016年)

●非正規雇用率

全国38.2%

群馬39.6%(2018年)



★就職氷河期世代支援プログラムの概要

無職・非正規・引きこもり状態の人
推定150万人にいていねいな支援が必要



政府

支援を委託

- ・ 県
- ・ 地方自治体
- ・ 人材会社などの民間事業者



就職氷河期
(1994年～2005年)

社会参加の支援
まず、対象者の
実態やニーズを
把握する

- ・ アウトリーチの展開
- ・ 切れ目のない支援
仕事の体験
資格取得のサポート
補助金で採用アップなど
- ・ 引きこもり経験者の参画や
NPOの活用

目標

● 30万人を
正社員へ

正社員
に就職

● 現状よりも
よい処遇へ

活躍の場の
拡大



令和元年11月9日付け朝日新聞

「氷河期世代 挑む狭き門」

宝塚市正規職員3人採用に応募600倍

45歳「挫折経験生かしたい」



- **一度つまづくと元のレールに戻るのが難しい現実。
この分厚い岩盤を打ち砕き、その人に合う支援が求められている。**

●ジョブ・カフェの担当者は「求職者が自身の特性や特技に気づき、胸を張り、より良い人生を送っていただけるように寄り添っていきたい」と話していた。

あたたかい！

●給付型奨学金と最低賃金1,500円の実現が一つの改善策かと期待して。低年金となる氷河期世代の老後も考え、今から手立てを！



●行政も民間も、すべての対象者に寄り添い、心のこもった温かい手を差し伸べてほしい。

●私たちに出来ることから
始めよう！

まず、健康づくり・仲間づくり・
助け合い。

それがとても大切！

●貧困があることを
みんなに理解してもらいたい！

以上